

2013年10月29日

2013年度(平成26年3月期) 第2四半期決算說明会

做株式会社 日立物流

2013年度第2四半期決算の概要



(単位:億円、端数四捨五入、()内は利益率(%))

		第2	四半期		通期		
	実	績	前年比 増減(%)	計画比 増減(%)	計	画	前年比 増減(%)
売 上 高		2,939	+8%	+1%		6,000	+10%
営業利益	(2.7)	80	-21%	-32%	(4.0)	240	+23%
経常利益	(2.5)	73	-26%	-36%	(3.8)	230	+18%
税引前利益	(2.5)	73	-26%	-36%	(3.6)	214	+4%
当期純利益	(1.0)	30	-41%	-52%	(1.9)	115	+3%

2013年度 第2四半期決算の概要(財務指標等)



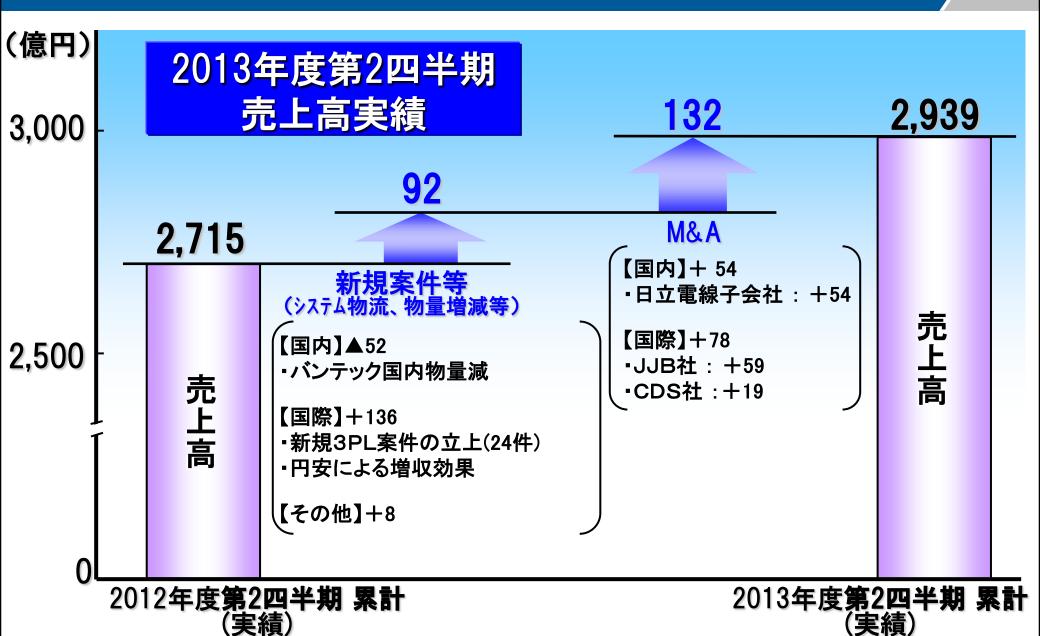
		2012年度第2四半期	2013年度第2四半期
総資産	(億円)	3,571	3,895
自己資本(〇は自己資本比率(%))	(億円)	44.7 1,598	42.4 1,650
1株当たり純資産	(円)	1,432.36	1,479.47
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	45.20	26.46
1株当たり配当(年間)	(円)	25	26
自己資本利益率(ROE) <年換算>	(%)	(6.4)	(3.6)*
総資産利益率(ROA) _{<年換算>}	(%)	(2.8)	(1.5)*
株価純資産倍率(PBR)	(倍)	0.91	0.92
株価(終値)	(円)	('12.9.28) 1,310	('13.9.30) 1,366

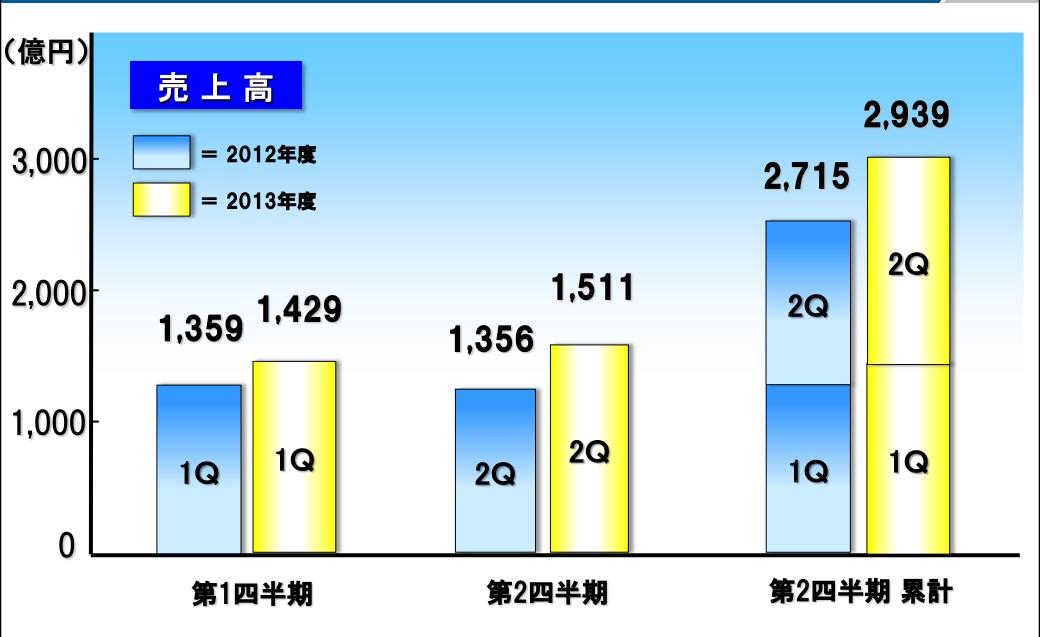
[※] 計算の分母に用いる自己資本、総資産は、前期末数値ではなく、改正退職給付会計基準を早期適用したことによる影響額を反映した期首 自己資本、期首総資産を用いております。

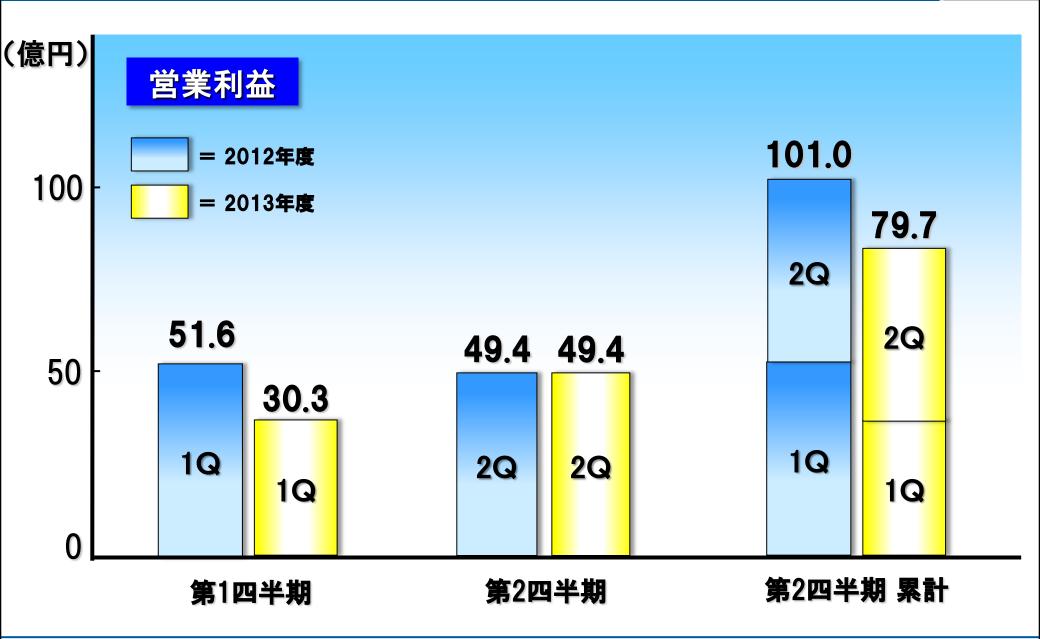
2013年度 第2四半期決算の概要(設備投資等)



設備投資			(単位:億円)
	2012年度	2013年度第2四半期	2013年度(計画)
自家投資	152	103	227
(参考) 賃 借	160	129	335
減価償却費	150	77	158
物流センター面積			(単位:万㎡)
	2012年度末	2013年度第2四半期末	2013年度末(計画)
国内	426	436	440
海外	138	158	160
合計	564	594	600
期末人員			(単位:人)
	2012年度末	2013年度第2四半期末	2013年度末(計画)
グループ総人員	46,524	48,023	48,183
連結人員	22,793	24,383	24,833







2013年度 第2四半期決算の概要(グループ別)



(単位:億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%)、()内は前年差)

				高	営業利	_	
			第2四半		前年比 増 減	第2四半期実績 (累 計)	前年比 増 減
	国内物	流	<67>	1,509	+3%	128.7	+1%
	DAY.	海外	<24>	540	+65%	7.2	+115%
1 1%— _	国際 物流	その他	<4>	101	-32%	-2.4	(-4.5)
オーガニック ※1	18301	計	<28>	640	+35%	4.8	-11%
X1	その他		<5>	103	+9%	12.6	+10%
	(消去又は全社)		-	-	-	-66.6	(-8.4)
計		<100>	2,252	+11%	79.5	-8%	
	国内物	流	<53>	394	-10%	6.8	-64%
	国際物流	海外	<21>	156	+28%	2.8	-43%
バンテック グループ		フォワーディング(日本)※2	<26>	198	+29%	3.2	-5%
	1937)16	計	<47>	354	+29%	6.0	-28%
計		<100>	748	+5%	12.8	-53%	
連結調整		-	-61	(-31)	-	-	
のれん償却等		-	-	-	-12.6	(0)	
合 計			<100>	2,939	+8%	79.7	-21%

※1:バンテックグループを除く日立物流グループ

※2:2012年7月にオーガニックの主なフォワーディング事業(日本)をバンテックグループに移管

2013年度 第2四半期決算の概要 (海外事業)



(単位:億円、端数四捨五入)

		売上	高	営業利益(現地費用除く)		
		第2四半期実績 (累計)	前年比 増 減	第2四半期実績 (累計)	前年比 増 減	
	北米	144	+41%	4.0	+230%	
	欧州	145	+37%	2.8	+14%	
	中国	225	+112%	2.7	-42%	
	アジア(中国除く)	173	+33%	0.6	+273%	
海外	その他	9	+72%	1	-	
	連結消去	-24	1	-	-	
	計	672	+53%	10.1	+21%	
	オーガニック	540	+65%	7.2	+115%	
	バンテック	156	+28%	2.8	-43%	
	連結消去	-24	-	-	-	

[※]上記は、国際物流の現地法人の売上高・営業利益

[※]上記の営業利益には、バンテックの無形固定資産償却は控除していない

[※]CDS社は、中国以外の地域についても中国に含む



システム物流の主な受注・立上状況推移(一般顧客向け)

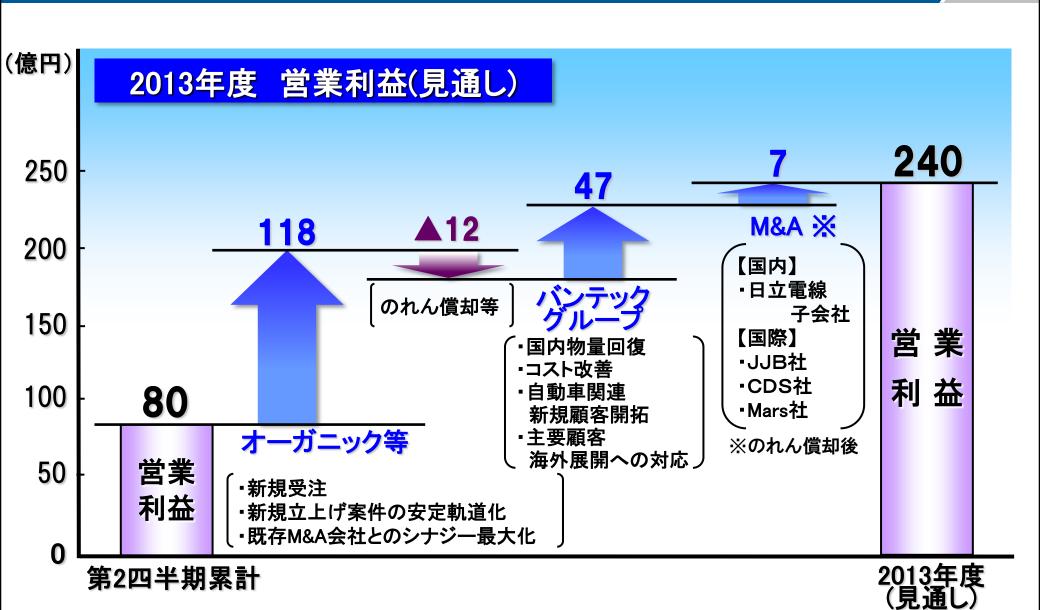
		2012年度	第2四半期	2013年度第2四半期	
立上	前期受注 当期立上		17件	53件	21件
	当期受注当期立上		19件		32件
受注	当期受注 次期立上 (受注残)	44件	25件	58件	25件

※上記の件数は、1,000万円/月以上の大口案件を表示

2013年度 通期の業績予想







- 1. 構造改革推進による収益基盤の強化
 - *組織、グループ会社の再編
 - *海外拠点の統廃合
- 2. 新規事業の安定軌道化
 - * 立上げロスコストの撲滅
- 3. 自動車関連新規顧客の開拓
- 4. 新たなビジネスモデル・ツールの開発



フォワーディング事業の強化

米国物流会社をM&A



営業開始

2013年5月

社 名

James J. Boyle & Co.

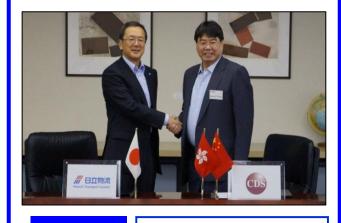
本 社

米国・ サンフランシスコ

事業内容

フォワーディング事業

香港物流会社をM&A



営業開始

2013年7月

香港

社 名

CDS Freight Holding Ltd.

本 社

事業内容

フォワーディング事業

トルコ物流会社をM&A



営業開始 2013年10月

社 名 Mars Logistics Group Inc.

本 社 トルコ・ イスタンブール

事業内容

陸運(インターモーダル事業)、 フォワーディング事業



新地域への進出 等

ミャンマー



営業開始 2013年1月 (検品作業は4月から)

社

NISSHIN (MYANMAR) Co., Ltd.

社ミャンマー・ヤンゴン

事業内容 国際物流、倉庫内作業

ロシア



営業開始

2013年6月

社

VANTEC HTS Logistics (RUS) LLC

ロシア・ サンクトペテルブルク

事業内容

倉庫保管 ·輸送業務等

インドネシア



名

営業開始 2013年10月

PT. Hitachi Transport System Indonesia

社 インドネシア・ジャカルタ

事業内容

3PL事業 (保管、配送、物流コンサルティング等)

拠点拡充(国内•海外)



大型物流センターの開設

新富士物流センター <賃借>



所 在 地

静岡県富士市

稼 働 時 期

2013年10月

取 扱 商 品

日用品•食料品等

中京物流センター(Ⅱ期) <自社>



所 在 地

愛知県春日井市

稼 働 時 期

2014年1月

取 扱 商 品

電気製品・生活用品等

クアラルンプール・ロジスティクス・センター<自社>



※Ⅰ期、Ⅱ期毎に時期を分けて稼働

所 在 地 セラ

セランゴール州バンギ

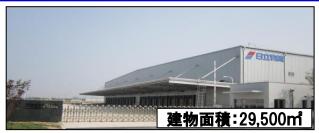
稼 働 時 期

2013年10月(I期分は2013年5月稼働)

取 扱 商 品

小売、家電・食品関連 等

天津物流センター く自社>



所 在 地

天津市内

稼働 時期

2013年10月

取 扱 商 品

日用品関連



倉庫・拠点配置の最適設計

提案力強化

(2)スマート・ウェアハウス

倉庫運営効率向上の仕組み

低コスト化

(3)物流経営コックピット

経営の可視化

物流データの一括管理・徹底活用



■物流現場で実証実験中 ■14年度実用化予定 (日立製作所と連携)

- ■新規営業開発、新規拠点計画等へ活用
- ■日立グループ物流改革、日立物流グループ内運営改善へ応用

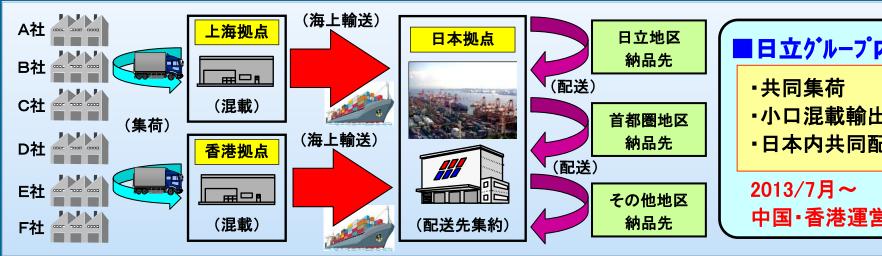
Hitachi Smart Transformation Project



国内倉庫の集約 ■13/4Q~14年度実施予定

- ■日立グループ各社の外部倉庫を集約 ※日立製作所(ロジスティクス統括センタ)と連携
- ・日立物流の既存拠点(物流センター)へ集約
- ・既存日立グループ拠点(物流センター)との共同保管・配送

海外調達混載プラットフォームサービス ■13/2Q~一部運営開始



■日立グループ内調達品

- ·小口混載輸出/輸入
- •日本内共同配送

中国•香港運営開始

テクニカルセンタ開設





所 在 地

千葉県松戸市(当社研修センタ内)

稼 動 時 期

2013年9月

延 床 面 積

162坪

主な試験内容

振動試験、圧縮試験、落下試験、環境試験等

特 徴

大型品の試験が可能、海外輸送の試験にも積極的に対応



第4回 日立物流グループ グローバル経営会議を開催



2013年10月15・16日に東京で開催

日立物流グループの最高戦略会議

本社&国内営業本部&海外グループ会社の 経営幹部等が出席

マルチラテラルの連携強化を実現

〈参考〉M&Aの総括(2007年度~)

按風味期	区分	案件名	
稼働時期 2007年4月	国内	 資生堂 子会社	│─────事業内容 │化粧品保管・配送
2008年4月	海外	ESA社(チェコ)	陸運
2008年9月	国内	タカノフーズ 子会社	チルド食品保管・配送
2009年3月	国内	スミダロジネット	シューズ保管・配送
2009年7月	国内	内田洋行 子会社	オフィス家具配送・取付
2009年10月	海外	JPH社(米国)	陸運
2010年4月	海外	FLYJAC社(インド)	フォワーディング
2010年12月	海外	大航社(中国) 連結化	フォワーディング、陸運
2011年1月	国内	DIC 子会社	化学品保管•配送
2011年2月	国内	ホーマック 子会社	ホームセンター物流
2011年4月	国内•海外	バンテック	自動車部品物流
2011年4月	海外	ETG社(タイ)	陸運
2011年10月	国内	シマダヤ 子会社	チルド食品配送
2012年1月	海外	DIC 中国·香港 子会社	化学品保管·配送
2013年3月	国内	日立電線子会社	ケーブル等の物流
2013年5月	海外	JJB社(米国)	フォワーディング
2013年7月	海外	CDS社(香港)	フォワーディング
2013年10月	海外	MARS社(トルコ)	フォワーディング、陸運



私たちは、スマートロジスティクス。

